



Cisco UCS Director Express for Big Data の再起動

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco UCS Director Express for Big Data の再起動, 1 ページ](#)

Cisco UCS Director Express for Big Data の再起動

Cisco UCS Director Express for Big Data のインストール後にエラーが表示された場合は、セキュアシェル (SSH) クライアントにログインしてスクリプトを実行し、サービスが実行されているかどうかを確認します。

-
- ステップ 1** Cisco UCS Director Express for Big Data の IP アドレスを使用して、次のクレデンシャルでログインします。
- a) ユーザ : shelladmin
 - b) パスワード : changeme
- shelladmin にログイン済みでデフォルト パスワードを変更している場合は、上記パスワードの代わりにその新しいパスワードを使用します。
- ログイン後に [shelladminパスワードの変更 (Change shelladmin password)] を選択してデフォルト パスワードを変更できます。
- ステップ 2** すべてのサービスのステータスを表示するには、[サービスのステータスを表示 (Display services status)] を選択します。
- このオプションが利用できない場合は、SSH を使用してサービスを再起動します。
- ステップ 3** 次のサービスが表示されることを確認します。
- 1. Broker
 - 2. Controller
 - 3. Eventmgr
 - 4. Client

5. Idaccessmgr
6. Inframgr
7. Websock
8. Tomcat
9. Flashpolicyd

(注) バックグラウンドで開始されるサービスは、このウィンドウに表示されません。

ステップ 4 [サービスの停止 (Stop services)] を選択します。

ステップ 5 すべてのサービスが停止していることを確認するには、[サービスのステータスを表示 (Display services status)] を選択します。

ステップ 6 サービスを再起動するには、[サービスの開始 (Start services)] を選択します。
